

— 人と地域のより良いデザインを目指す —

## 株式会社 ブレインズ



所在地：〒405-0076 山梨県笛吹市一宮町竹原田1674番地  
 TEL：0553-47-5111（本社）  
 FAX：0553-47-5151  
 URL：http://www.brains-cec.co.jp/  
 従業員：27名  
 設立：昭和47年  
 代表者：代表取締役社長 裕下英志



本社社屋



東部支店社屋



社内勉強会



地域のボランティア清掃



社屋まわりの花植え



社員旅行（熊本・長崎）



社員旅行（香港・マカオ）



地域を結ぶ県道富士河口湖芦川線



交流の場ともなるさくら温泉通り東入口交差点



流木の捕捉に有効な透過型砂防堰堤



近代土木遺産の橋梁補修・補強設計



巨石を組み合わせた工法による重川の多自然川づくり



日川を跨ぐ丸林水管理橋



マスタープランづくりのための住民ワークショップ



JR石和温泉駅北口駅前広場



借景を活用したのびやかな八木崎公園

### はじめに

当社は、昭和47年に富士山麓に位置する山梨県富士吉田市で創業しました。設立当初は測量業のほか建築設計を主体に事業展開し、着実に地域コンサルタントとして成長してきました。その後、平成8年に現在の山梨県笛吹市に本社を移転するとともに、都留市に東部支店を開設しました。

創業以来、建設コンサルタント業の業務範囲の拡大を図り、道路、橋梁、河川・砂防、上下水道、都市計画及び地方計画の各分野で業務を展開してきました。今日では、多様化、複合化する地域課題にも各分野が協力して対応できるよう体制を強化し、これからも地域に必要とされる企業であり続けられるよう、日々取り組んでいます。

### 当社の特色

当社が位置する山梨県は、周囲を山に囲まれ、山紫水明、山の都などと呼ばれますが、その急峻な地形や複雑な地質は、社会基盤整備にあたっては、時として難

題を投げかけます。また、地域には風土に培われた独自の文化や暮らし方があり、その表象である地域景観も県民にとっては重要な資産です。

地方の自立が叫ばれる中、地方都市圏の社会基盤整備や地域社会づくりにあたっては、地域の成り立ちをよく理解し、地域資源や文化を損なうことなく、次々に引き継いでいくという視点が重要であると考えます。

こうした視点を念頭に置き、地域の特性や環境に配慮した技術提案、身近な技術者集団としての迅速で丁寧な業務遂行は、地域とともに成長してきた当社の強みであると自負しています。

### 地域に根ざした事業展開

#### ・山の都の社会基盤を支えるために

道路分野では、交通・交流機能、地域の骨格形成機能、防災機能、観光や視点場としての機能等を最大限に生かせるよう、安全性・利便性・快適性の高い道路空間づくりに取り組んでいます。

橋梁分野では、新設橋梁設計に加え、橋梁点検、長

寿命化計画、補修・補強設計等を行っています。近年では、県・市・地域住民との協働により、景勝地にある近代土木遺産の橋の補修・補強や橋詰空間と一体的な修景整備等にも取り組み、地域貢献することができました。

#### ・郷土の美しい山河を守るために

河川分野では、通常の河川事業に加え、近年では地域の特性や環境に応じた多自然川づくりや親水空間の形成にも力を入れています。また、砂防分野では、土石流・急傾斜地対策等をはじめ、土砂災害防止法に基づく基礎調査や長寿命化計画の前提となる施設調査なども多く手掛けています。

一方、上下水道分野では、水環境の保全とライフラインの構築を念頭に、上下水道の計画、設計とともに、維持管理に向けたカメラ調査、予防保全の考えに基づくマネジメント計画等にも取り組んでいます。

#### ・地域の魅力と豊かなコミュニティを育むために

都市計画及び地方計画分野では、ワークショップ等の住民参加プロセスに特に力を入れ、住民意向を十分

に反映した都市計画マスタープラン、景観計画等の行政計画やまちづくり計画等の立案に取り組んでいます。また、各種公園・緑地・広場の計画・設計のほか、道路や施設の景観検討についての実績も多くあります。

こうした業務を通じて、地域のNPOやまちづくり団体、地元大学との交流も広がり、業務を越えた地域とのつながりは、地域コンサルタントとしてのやりがいや喜びの源泉となっています。

### おわりに

当社は、地域とともに着実に成長を続け、おかげさまで平成30年9月に設立以来48年目を迎えることができました。これはひとえに日頃からご愛顧いただいているお客様や、温かく迎えてくださる地域の皆様に育てていただいたおかげであると、深く感謝しております。

今後とも、この感謝の気持ちを忘れずに、地域を誇りに思い、より良い社会資本整備と魅力ある地域社会づくりに貢献できるよう、努力と研鑽を続けてまいります。

（文：代表取締役社長 裕下英志）